

大学の世界展開力強化事業(2021年度選定) 東北大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度2021年度・(タイプB①))

アジア型デンティストリーコンソーシアムによるマルチモーダルなグローバルリーダー育成

【交流推進事業の概要】

大学の世界展開力強化事業 ～アジア高等教育共同体形成促進～



【交流プログラムの概要】

(1)学部入学時点から双方向短期交流プログラムおよび歯科企業・保健医療行政でのインターンシッププログラムを実施。(2)日中韓間で設置済の双方向型歯学博士課程DDプログラムのASEANへの展開によりASEAN歯学基幹校間の単位相互認定を実現し、参加学生が全ての連携国で体験学習できる国際連携教育プログラムを構築。(3)日中韓+ASEANの歯学基幹校間の国際共同シンポジウム定期開催、研究者・教員交流を通じ、国際共同研究を実施・強化。(4)事業終了時に本プログラムの参加者・修了者からなるAsian Dental Leader's Leagueを構築し、アジアに根差した歯学教育研究・歯科医療(アジア型デンティストリー)の確立・普及を促進。

【本事業で養成する人材像】

本事業で養成する人材は、融合知・国際知に立脚し、研究、教育、医療、産業、並びに行政の各分野で活躍できるリーダーである。具体的には、(1)教育研究・医療機関において多様な視点から世界の歯科医療の技術革新を創造する歯学研究者・教育者・高度専門職業人、(2)行政機関において、問題抽出・制度設計を通じ、世界の口腔保健の抱える課題を解決できる人材(3)歯科医療技術・器材の認証・産業機関において、法規整備・技術革新を先導し、日本の歯科産業の国際展開に積極的に貢献できる人材の養成を目標とする。

【本事業の特徴】

本事業では、「食べる」「話す」「味わう」など人々の

生活・文化・健康に密接に関わる「口」の機能を保障する歯学分野において、日中韓泰の大学が連携して、文理異分野連携型・産官学連携型の歯学教育を通じた多様な価値観を受容し相互理解を深める学生交流を提供することにより、当プログラムが目指す人材像を育成する。

【交流予定人数】

		2021	2022	2023	2024	2025
派遣	実際に渡航する学生	0	5	10	15	15
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	7	10	5	0	0
	実渡航とオンライン受講を行う学生	3	5	5	5	5
受入	実際に渡航する学生	0	8	10	15	15
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	7	8	5	0	0
	実渡航とオンライン受講を行う学生	3	4	5	5	5

1. 取組内容の進捗状況（令和3年度）

【東北大学】

【アジア型デンティストリーコンソーシアムによるマルチモーダルなグローバルリーダー育成】

（採択年度 令和3年度）

交流プログラムの実施状況



CAMPUS Asia Plus Program
Developing multimodal global leaders

〈専用ホームページのホーム画面〉

1. 国際連携シンポジウムおよび短期交流プログラムの実施

1月に連携校と本事業キックオフシンポジウムおよびオンライン短期学生交流プログラムを実施した。シンポジウムには延べ300人以上が参加し、幅広い情報交換ができた。交流プログラムには、外国人学生計50名以上、日本人学生計24名が参加し、留学意欲促進の機会となった。

2. 専用ホームページの開設

3月には本事業の専用ホームページを開設し、プログラムの情報発信、学生リクルートのプラットフォームを整備した。

3. ダブルディグリープログラム

12月からはインドネシア大学とDDプログラム設置に関する協議を開始し、覚書・プログラム概要などについて概ね合意した。3月には四川大学からDD学生2名を実渡航により受け入れた。

交流プログラムにおける学生のモビリティ

日本人学生の派遣

- 1月14日～18日および3月7日～16日に2つのオンライン短期学生交流プログラムを実施した。本研究科からは、24名の学生の参加があり（それぞれのプログラムに4名と20名）、彼らの国際視野の涵養、学生レベルでの交流が国際ネットワークの構築に貢献した。
- 教務係と国際連携推進部門の連携の下、緊急連絡網を強化し、危機管理マニュアルを拡充・連携校担当者との連携を強化した。

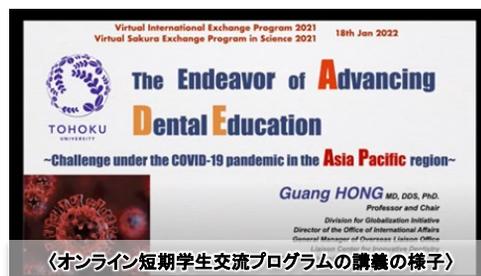
外国人留学生の受入

- 3月には四川大学からDD学生2名を受け入れることができた。
- 1月に実施したオンライン短期学生交流プログラムにはアジア太平洋地域の連携校から50名を超える学生の参加を得ることができ、国際的視野を涵養、学生レベルでの国際ネットワークの早期構築および大学院進学への動機付けに寄与した。
- 1月に開催したキックオフシンポジウムには12カ国・地域から延べ300人以上が参加し、歯学教育・研究について幅広い情報交換ができ、国際共同教育・研究の推進、本事業の社会発信強化に寄与した。

	R3	
	計画	実績
学生の派遣	10	24
学生の受入	10	15

質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

- 12月からインドネシア大学とDDプログラム設置に関する協議を開始し、ガイドラインに厳密に従い、インドネシア大学とのDDプログラム設計を行い、QE（博士論文基礎力審査）の導入など、質の保証に終始した。
- 本事業の実施体制を確定するとともに、文理融合カリキュラム検討委員会を設置し、次年度からの新設大学院コースを設定するとともにカリキュラムを確定した。
- ハイブリッド交流プログラムの編成を行い、学生が気軽に参加できるような環境を整備した。また、事前体験プログラムやフォローアップを徹底するとともに、留学効果の評価にBEVIテストを投入するなど、教育効果向上および質の保証に寄与した。



〈オンライン短期学生交流プログラムの講義の様子〉

外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備

- 1月には連携校とオンライン短期学生交流プログラムを実施、キャンパス・アジアプラスデンタルシンポジウムをオンラインで開催し、本事業の周知が強化され、留学意欲促進の機会となった。
- 最先端の設備を有するオンライン会議・授業用の会議室を設置し、より質の高いオンライン・ハイブリッドの授業を提供できる環境を整備した。
- 世界展開力強化事業推進室を設置し、専属事務職員・教員、外国人教員を雇用し、サポート体制を強化した。
- グローバルアンバサダー・ジュニアグローバルアンバサダー増員によるサポート体制を強化するとともに、チューター制度を充実させ、きめ細かなサポートを可能とした。

事業の実施に伴う大学の国際化の状況

情報の公開、成果の普及

- 協定校学生を対象としたプログラム広報および情報提供のために、キャンパス・アジアプラスプログラム専用のホームページを開設した。さらに、歯学研究科留学生協会と連携し、SNSを活用した社会発信を強化した。今後は、学生による広報グループを設定し、学生目線の情報発信に努める。
- インドネシア大学とのDD協定締結が進んでおり、締結後は中韓泰尼全ての連携校との国際共同教育プログラムの実施が可能となる。

グッドプラクティス等

これまで対面でしか実施できなかった本学歯学部学生対象のハンズオンセミナーを、IT技術を活用し、連携校と共同しながら、リアルな実習をオンラインで実施した。これにより、最先端の学習経験を通じたオンラインによる海外学生との交流機会を提供することができた。



〈オンライン短期学生交流プログラムのキャンパスツアーの様子〉